

事業主体名		那覇市					
令和3年度沖縄振興特定事業推進費(市町村)検証シート							
事業名	「古琉球・近世琉球」周遊促進事業		担当部課名	経済観光部 観光課			
			認定市町村名				
広域性要件または先導性要件の該当有無	<input checked="" type="checkbox"/>	広域性要件	現年事業または繰越事業	事業実施(予定)年度	令和元～3年度		
	<input type="checkbox"/>	先導性要件				<input type="checkbox"/>	繰越事業
事業内容	<p>・令和元年10月の首里城火災により首里城周辺を訪れる観光客が減少したことから、琉球王朝以前の史跡のある浦添市と琉球王朝時代の史跡のある那覇市の周遊ルートを策定し、誘客促進につなげることを目的とする。</p> <p>・広域的な取り組みを条件とする沖縄振興特定事業推進費市町村補助金を活用し、浦添市と共同で実施。世界遺産「識名園」や天然記念物「大ヤカギ」等の近世琉球及び日本遺産「浦添城跡」等の古琉球を味わえる周遊ルートの策定や誘客・PR活動を実施。</p> <p>※「古琉球」とは、12世紀頃から薩摩が琉球に侵攻した1609年頃までの約500年間の時代。「近世琉球」とは、1609年以降から1879年の沖縄県の設置までの時代。(「絵で解る 琉球王国 歴史と人物(監修:井上英雄 沖縄県立芸術大学名誉教授)」)</p>						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R1年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度
		当初予算額	8,000	0	6,564		
		増減額	0	0	0		
		予算現額	8,000	0	6,564		
		前年度から繰越	0	8,000	0		
		翌年度へ繰越	8,000	0	0		
	計	0	8,000	6,564		0	0
	執行済額	0	6,564	6,423			
	うち補助金充当額	0	5,251	5,138			
	不用額	0	1,436	141			
執行率(%) (B/A)	0.0%	82.1%	97.9%	0.0%	0.0%		
予算の状況の説明	・令和2年2月7日に内閣府から交付決定を受け、事業執行のための時間的余裕がなかったことから令和2年度に全額繰越。令和2年度及び令和3年度に事業を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	モデルコースの策定及び磨き上げ	目標	(モデルコースの策定3つ)	(R2年度で策定したモデルコースの磨き上げ)	()	()	
		実績	策定済	実施済			
	ターゲット層への情報発信	目標	メインターゲット層に影響力のある媒体を活用し実施。パンフレットの作成。	県内外の誘客促進、コースの魅力を発信する内容・手法で実施。		()	
実績		パンフレット6000部作成。宿泊予約サイトを活用したプロモーションやSNSより配信広告を実施。	パンフレット10000部作成。宿泊予約サイトを活用したプロモーションやSNSより配信広告を実施。				
達成状況説明	<p>・R元年度予算を繰越し実施したR2年度では、浦添市「古琉球」関連施設と那覇市「古琉球・近世琉球」関連施設を周遊するモデルコースを3つ策定。</p> <p>・R3年度は、R2年度にモデルコースとして策定した3つのルートについて実態調査を実施。調査結果からメインターゲット層に興味の高かった「金城町石畳道」「シーサー作り体験」「ヨガ体験」等の周遊ポイントやアクティビティを組み入れる磨き上げを行った。</p>						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (R2年度)	R3年度		目標値 (R4年度)	
	那覇市「古琉球・近世琉球」関連施設から浦添市「古琉球」関連施設への周遊状況	目標					(60%)
		実績	41.3%				37%
	成果目標(指標)		基準値 (R2年度)	R3年度		目標値 (R4年度)	
浦添市「古琉球」関連施設から那覇市「古琉球・近世琉球」関連施設への周遊状況	目標					(70%)	
	実績	47.9%				51%	
進捗状況説明	<p>・R2年度はモデルコースを策定後に周遊キャンペーンを実施。浦添市「古琉球」関連施設及び那覇市「古琉球・近世琉球」関連施設8箇所ステッカーを配布、作成したパンフレット内キャンペーンハガキに両市分ステッカー計3枚を添付(=両市周遊とする)し投函させ、基準値となる各市の周遊割合を算定し、令和4年度末の目標を設定した。</p> <p>・R4年度に浦添市と共同で周遊状況の調査をwebで実施。R2年度調査と同じ両市の関連施設に、webアンケート調査協力依頼のフライヤーを掲示。フライヤーに調査用のQRコード(各市で別)を貼付。各市を来訪した観光客が各自フライヤー内のQRコードを読み取り回答。調査項目に「当該市訪問前(又は後)にもう一方の市の関連施設への訪問意向を問う。全体回答数から「行った」「行きます」と回答した割合を算定。本市「古琉球・近世琉球」関連施設から浦添市「古琉球」関連施設への来往客割合37%、浦添市「古琉球」関連施設から本市「古琉球・近世琉球」関連施設への来往客割合51%という結果となった。</p>						

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・那覇市の「古琉球・近世琉球」関連施設について、成果目標が未達成となった要因としては、R2年度に周遊キャンペーン等を実施し、基準値及び目標値を設定した。しかし、当時はコロナ禍であり、R4年度は徐々にコロナ禍が終わりつつあったことから、目標値設定当時とは客層の異なる来訪者が増加したため、策定したモデルコース以外への来訪が再開されたことなど、来館者そのものは増加したものの、周遊に至るケースが少なくなったため、結果として周遊割合が減少したことなどが考えられる。</p> <p>・那覇市「古琉球・近世琉球」関連施設及び浦添市「古琉球」関連施設を来訪したことがない方や関連施設自体を知らない方々へのPRが不足していた。</p>	<p>・国内外への情報発信を強化する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・デジタルパンフレットのWeb掲載やSNSを活用した情報発信を行なう。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
	6,423	6,423	5,138	1,285	0
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・本事業は、沖縄振興特定事業推進費市町村補助金を活用したもの。交付対象要件は①沖縄の特殊性、②機動性、③先導性又は広域性、をすべて満たしていること(交付要綱第4条)。事業者公募及び選定は別々に実施したが、それぞれの公募にあたり、もう一方の市の職員も加わった審査委員会で審査評価を行い、事業者を決定した。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は、見積書を徴収し、その執行率から適当である。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・使途については、精算段階で検査しており、真に必要なものであると最終確認している。		
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				